

面で、日々の時間の経過に従った大まかな計画である。

5. 日単位の指導計画(第五図参照)

一般に「日案」と呼ばれるものであ

る。「その一」は表面で、主として一日の保育を時間の流れに従って記入する。「その二」は裏面で全般的な記入にあてる。出欠席に関する欄をつくつ

上巻 児童学より見た育児と発達 著 義信 井平

平井信義氏のこの大著が出版されたことはまことにお祝いしたい。今回は上巻だけがまとめられているが、七百頁もある大冊である。氏が十年以上も前から、このような書物を出すことを夢みておられたことを私は知っていたし、そのことを心にとめてたゆまずに資料を整理しながら講義をまとめてこられたことを承知しているだけに、その集成をみたことに感慨を禁じ得ない。これは実に勉強家である氏の長年にわたる努力の結晶である。

この書物は個人でもっている

のには大部すぎるであらうが、幼児を扱う施設には必ず一冊あってよいものである。内容は胎児期新生児期より幼児期にいたる発達を詳しく述べてあり、さらに児童期、青年期にもふれている。身体発達の面はとくに詳しいが、心理的発達の面に詳しい著者は随所に心理的発達をふくめて解説し、乳幼児の育児、学童、青年の指導にじゅうぶんな考慮が払われている。

(津守真)

(家政教育社 昭和三十四年

定価一、八〇〇円)

たり「伝達」という欄をつくつたり、「備忘欄」をつくつたりしたのは、使用上の便利を計つてのことである。なお、一日の活動の中心や目標の欄をつくつたのは、一日を、まとまった幼児の生活と考えたい気持ちからである。

以上かんたんに述べたが、幼稚園や保育所の指導計画は、このようにして、大きいところから細かいところへ及ぶべきである。

なお、「松江市幼稚園教育計画」は現在改訂中であるが、今学年度中に改訂を完了し、来学年度早々印刷される予定である。この指導計画は、二年保育(年少、年長別)と一年保育についての計画で、合本して一冊になる。

指導計画の形式や内容の取り上げ方はいろいろあるので、右のような考え方について批判のある方はどしどし指摘していただければ幸である。

(島根大学付属幼稚園)